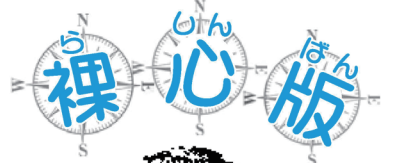


小田町長の



「燃えろ『埋み火』」

30代の頃だが、興味本位で一年間ほど茶道を習ったことがある。

茶の湯ではお点前を頂戴するだけでも帛紗・扇子・懐紙・菓子切りなど小道具が必要で、それらの取り扱い方には独特の作法と所作が定められている。すべての動作には、無駄を省き、相手を不快にさせない合理的で納得できる意味があり、興味深い学びとなった。

茶を沸かす炭にも扱いの作法があるのだが、その時に知った「埋み火」なる言葉が記憶に残っている。埋み火とは、あまり聞きなれない言葉であるが、囲炉裏や火鉢などの灰の中に埋めて、火種が消えないように保った炭火のことである。生活様式が変わった現代ではあまり見ることのない景色ではあるが、昔は火をつけることがとても大変なことだったため、一度つけた火が消えないように炭に灰をかぶせて長時間燃え尽きないように調節して火種として取っておいたのである。

茶道では大晦日の夜に炉の火を「埋

み火」にし、元旦の朝にそれを掘り起こして新しい年の最初の火種（若水を沸かすため）にする伝統があるそうだ。これは、茶道において重要な炭手前の一つであり、炎を外に出さず灰の中に潜ませる様子を、冬のわびさびや静かな生命力が感じられる。そこから「埋み火」は人の心の奥に潜み、表面的には火が消えたように見えても、内側には熱い火種がしっかりと残っている状態を指し、一度は諦めかけた夢や、心の奥底に秘めた情熱を指す比喻としても使われているようである。

現在、全国各地において、高齢化や人口減少、そして担い手不足が地域活動や文化活動など、さまざまな分野で大きな課題となっている。「後継者がいない」「組織には縛られたくない」といった声が聞こえているが、一方では、心の奥底には「こうあつてほしい」「できることなら何とかしたい」という、熱く前向きな思いを抱えている方々も少なからずいらつしやる。まちづくりにおいても灰に埋もれて外からは見えなくなってしまう心の奥底の「埋み火」を、「もう消える」とあきらめて見過ごしてしまうのか、それとも消えないうちにもう一度「埋み火」を起こすための対策を講じるのか、これは、地域の将来の大きな分かれ道になる。

覆い被さっている灰を払い除け、「埋み火」が燃え上がる機運を呼び起こしていきたい。

笑顔特派員

スベリィ・マーキュリーの

笑顔お届け日誌121

Rock You!!



大井よさこいひょうたん祭の第41回開催がすでに楽しみ、笑顔特派員&移住定住コンシェルジュのスベリィです。祭のアレコレは後ほど。まずはお知らせです！

笑顔特派員10周年にかこつけて、「どうしてもやりたい！」とスベリィがわがままを炸裂させた結果、約2年ぶりに「あのプロジェクト」を開催できることになりました！

■主役は、あなた！あしがらふるさと劇団公演

市町民が劇団員となり「よしもと流コメディ劇」を演じる【ふるさと劇団】を開催します！公演は11月28日(土)。現在、劇団員を募集中です。今回の募集範囲は足柄上郡5町に加え、南足柄市在住・在勤・在学の方もOK！脚本・演出は、全国各地のふるさと劇団で活躍する内海仁志さんが担当。劇団員の募集は今年14日(月)までなので、思い立ったら即ご応募がおすすです！(「忘れていました」「迷っていたら締切だった」という声を毎回聞くので...) 詳細は、今号の広報おおい8ページをご覧ください。

さて、ここからは近況報告です。

■ひょうたん祭を終えて

①先月掲げた「夢おおい踊り隊69



人！」という目標に対し、結果は：31人！目標には届きませんでした。が、「このために来た！」という熱い方もいて、楽しく演舞ができました！参加するこ

とで得る価値を、もつとわかりやすく発信して次回こそ69人で踊りたい！

②よさこい新楽曲『ひょうたんパラダンス』を初披露！町内よさこいチームと一緒に形にした、我が子のように愛おしい曲。たくさんの人に愛され、踊り継がれていくことを願っています。振付動画はおおいひょうたんチャンネルで公開中。ぜひチェックをお願いします！



■お笑いで学ぼう！コミュニケーションの達人

ゲーム企画や漫才づくりを通して、人と接する上での大事なポイントをお伝えしました。みんなにとつて、少しでもプラスの時間になっていたら嬉しいです！

最後に！【ふるさと劇団】制作のクラウドファンディングが近日スタート予定。応援よろしくお願いします！